

誰もが学ぶことができる機会の保障

- 教育相談体制等の充実によるいじめ、不登校対策等の推進
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、SNS等を活用した相談体制の充実、自殺対策、不登校対策等の推進（不登校特例校の設置促進等）
 - ・夜間中学の設置促進等

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的促進等による地域や家庭の教育力の向上や体験活動の充実、学校安全体制の整備の推進
 - ・学校を核とした地域力強化、社会教育施設の機能強化による地域の教育力向上等（学校における働き方改革・地域による学習支援、家庭教育支援、体験活動、読書活動の機会の確保、公民館・図書館等のDXの推進等）
 - ・学校安全体制の整備

- 生涯を通じた障害者の学びの推進、特異な才能のある児童生徒への支援
 - ・切れ目ない支援体制構築に向けた特別支援教育の充実等
 - ・特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進（新規）

- 外国人の受入れ拡大に対し、共生社会の実現を図るための日本語教育・外国人児童生徒への教育等の充実
 - ・外国人に対する日本語教育の推進
 - ・学校における日本語指導体制等の充実や外国人の子どもの就学促進等

◎新しい時代の学びの環境整備◎
(義務教育費国庫負担金)

- 少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備等【+3708人】
 - ・小学校における35人学級の推進 +3283人
 - ・教育課題への対応のための基礎定数化関連 +425人
- 小学校高学年における教科担任制の推進 +950人
(優先的に専科指導の対象とすべき教科) 外国語、理科、算数、体育
- 学校における働き方改革や複雑化・困難化する教育課題への対応 +250人
(内訳)
 - ・中学校における生徒指導や支援体制の強化 +160人
 - ・チーム学校や学校DXの推進に向けた運営体制の強化 +50人
(主幹教諭、養護教諭、栄養教諭、事務教諭)
 - ・離島や過疎地域を含む小規模校への支援 +20人
 - ・貧困等に起因する学力課題の解消 +20人
- 補習等のための指導員等派遣事業
 - ・教員業務支援員の配置・・・12950人(2300人増)
 - ・学習指導員等の配置・・・11000人(増減なし)
- 部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備
 - ・中学校における部活動指導員の配置支援 12552人
(運動部 10500人、文化部 2052人)



中央評議員会・第三回執行委員会
二月十一日(土)香川県教育会館にて中央評議員会が開催された。来年度の体制や行事の予定、運動方針などが提案され、討議・検討された。また定期大会の日程も六月四日午後開催(ミューズホール)と決まった。

会員の声 (給特法について)

3回に渡ってお伝えしました給特法について(日々是好日)皆さんはどういったお考えでしょうか?「やっぱり残業代に変更して欲しい!」「教職調整額を上げるべきだ。」「もっと別のシステムを考えたらどう?」などなど現場の先生方の御意見をお待ちしております。

右のQRコードを読み取って、御意見や御感想を投稿して下さい。投稿された方の中から図書カードをプレゼントいたします。



2月 業務抄

- 1日 県教委 人事要望
- 4~5日 全日教連給与法制局会議 (東京)
- 11日 中央評議員会 教育講演会
- 14日 高学協 評議員会
- 17日 香川県教育弘済会 理事会 幹事会
- 21日 香川県教育会館 理事会
- 22日 香川県教職員互助会 理事会

「行き過ぎた指導」という言葉があまりありません。本来はそのような意図はなかったが、結果的にやり過ぎてしまった」という意味なのでしょうが、それだけ教育の「加減」の線引きが非常に曖昧であることの裏返しであるともいえます。指導者側が自覚して気をつけておかなければ、簡単に「行き過ぎた」状態に至る危険性を含んでいるのです。

「行き過ぎた指導」のほとんどは子どもにマイナスの影響を与えます。もちろん、プラスの関わりが行き過ぎてしまつて「過度に褒めることで、褒めなければ動かない子どもに育ってしまう」ということはありえます。しかし、教育上の問題として大きく取り上げられるのは、そこに「罰・脅し・制裁」等の意図が込められている場合です。この指導の最大の欠点は「結局のところ、何も教えたことになっていない」という点です。「教師側の自己満足という側面が強く、そのため指導者側の満足感が得られなければずつと繰り返されるのです。そしてペナルティーは次第にエスカレートしていくのです。

罰や脅しの副作用について臨床心理士の奥田健次氏は具体的に6点挙げています。

- ① 行動することそのものを止めるようになる。
- ② 一時的に効果があるかも知れないが持続しない。脅されないと行動できない人を育ててしまう。
- ③ 罰的な関わりはエスカレートしがちになる。
- ④ ネガティブな情緒反応を引き起こす。極度に人を恐れる、恨む、自尊心が傷つくなど。
- ⑤ 力関係次第で、他人に同じことをしてしまう。状況が変わつてその子が力関係の強い側に回つたとき、弱い相手に対して同じことを行う。
- ⑥ その子自身が考えて、動けるようになっていない。何も教えたことになっていない。

次号へ続く

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて

令和5年度 文部科学省予算案閣議決定
文部科学省予算(案)のポイント!

今回示された予算案では、「個別最適な学びと協働的な学びの実現」や「誰もが学ぶことができる機会の保障」のため、「教師等の指導体制の充実と働き方改革の推進」「教師の研修体制の充実」「GIGAスクール構想の着実な推進と学校DXの加速」「教育相談体制等の充実によるいじめ、不登校対策等推進」「生涯を通じた障害者の学びの推進、特異な才能のある児童生徒への支援」などが盛り込まれた。

個別最適な学びと協働的な学びの実現

- 教師等の指導体制の充実と働き方改革の推進、教師の研修体制の充実
 - ・小学校における35人学級や高学年の教科担任制推進
 - ・学校における働き方改革の推進のための支援スタッフの充実
 - ・「新たな教師の学び」を支える研修体制の構築
- GIGAスクール構想の着実な推進と学校DXの加速
 - ・運営支援センター機能強化、自治体等への端末活用支援、先端技術利活用推進等
 - ・次世代の校務デジタル化の推進(新規)
 - ・小中学校等における学習者用デジタル教科書普及推進
 - ・教育DXを支える基盤的ツールの整備・活用、教育データの分析の推進等
- 運動部・文化部活動の地域連携や地域クラブ活動移行
 - ・部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的整備
- 幼児期及び幼保小接続期の教育の質的向上
 - ・「幼保小の架け橋プログラム」の実施、質を支える体制整備の支援
- 感染症対策の充実と学校健康教育の推進
 - ・学校の新型コロナウイルス感染症対策支援、養護教諭の業務支援の充実、学校健診情報の本人提供(PHR)の推進、食育の充実等
- 道徳教育の充実
 - ・道徳教育の抜本的改善・充実等
- 英語教育の充実
 - ・英語教育・日本人の対外発信力の改善

公立学校施設の整備

- 新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進
 - ・学校施設の長寿命化を図る老朽化対策
 - ・バリアフリー化、特別支援学校の整備
 - ・他施設との複合化・共有化・集約化
- 防災・減災、国土強靱化の推進
 - ・非構造部材の耐震対策等
 - ・避難所としての防災機能強化(トイレ改修等)
- 脱炭素化の推進
 - ・学校施設のZEB化(高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等)
 - ・木材利用の促進(木造、内装木質化)

香教連では、全日教連と連携し、関係省庁や国会議員に対し、義務標準法の改正を伴う基礎定数及び加配定数の拡充を要望してきた。教員業務支援員が2300人増員されたことなど、一定の改善が図られたことは、皆様にご協力をいただいた署名活動をはじめ、これまでの要望活動の成果であると考えている。

今後も定数改善、養護教諭の複数配置や栄養教諭の配置基準の見直しを含めた教育環境の整備について、粘り強く関係各所に要望していく。また、全日教連を通して、教職調整額の支給割合増も訴えていく。

特別じゃない特別支援教育を⑧
がまくち先生

「行き過ぎた指導」という言葉があまりありません。本来はそのような意図はなかったが、結果的にやり過ぎてしまった」という意味なのでしょうが、それだけ教育の「加減」の線引きが非常に曖昧であることの裏返しであるともいえます。指導者側が自覚して気をつけておかなければ、簡単に「行き過ぎた」状態に至る危険性を含んでいるのです。

「行き過ぎた指導」のほとんどは子どもにマイナスの影響を与えます。もちろん、プラスの関わりが行き過ぎてしまつて「過度に褒めることで、褒めなければ動かない子どもに育ってしまう」ということはありえます。しかし、教育上の問題として大きく取り上げられるのは、そこに「罰・脅し・制裁」等の意図が込められている場合です。この指導の最大の欠点は「結局のところ、何も教えたことになっていない」という点です。「教師側の自己満足という側面が強く、そのため指導者側の満足感が得られなければずつと繰り返されるのです。そしてペナルティーは次第にエスカレートしていくのです。

罰や脅しの副作用について臨床心理士の奥田健次氏は具体的に6点挙げています。

- ① 行動することそのものを止めるようになる。
- ② 一時的に効果があるかも知れないが持続しない。脅されないと行動できない人を育ててしまう。
- ③ 罰的な関わりはエスカレートしがちになる。
- ④ ネガティブな情緒反応を引き起こす。極度に人を恐れる、恨む、自尊心が傷つくなど。
- ⑤ 力関係次第で、他人に同じことをしてしまう。状況が変わつてその子が力関係の強い側に回つたとき、弱い相手に対して同じことを行う。
- ⑥ その子自身が考えて、動けるようになっていない。何も教えたことになっていない。